

平成 17 年度調査・研究事業

花巻地域次代牽引産業検討調査《岩手県》

【概要】

花巻市の工業は基盤系製造業が主力となっているが、次代を担うリーディング産業の創出が課題となっている。

本事業では今後当地域への定着・普及が期待される自動車関連産業、電子デバイス産業について、今後の業界動向、地域企業との関連性を明らかにし、花巻地域への集積の可能性等について調査を行った。

【対象市町村、モデル地域等】

岩手県花巻市

【調査年度】

平成 17 年度

【提案・要請者】

岩手県花巻市

【提言内容・その後の活動等】

本調査では、花巻地域の産業構造とこれまで培ってきた電気関連産業との技術的近接性から、自動車関連産業と電子デバイス産業を次代を担う牽引産業として位置付け、この具体的推進方策を提言した。

地域全体の産業競争力向上のためには、各企業が経営革新を行いながら、自社のコア技術を最大限活用できる基盤が重要であり、そのためにはデジタル化への対応、技能工の確保と育成、さらにはコーディネート人材の確保と育成が求められる。

自動車関連産業については、業界の動向把握や受発注に係る情報の一本化と企業・行政間の双方向的な情報提供システムの構築が求められるとともに、地元企業側では、共同発注や共同企画提案を具現化するための組織づくりも重要な施策である。

電子デバイス関連産業については、企業と大学が連携して新技術・新製品開発を促進するため、産学共同研究組織である既存の「デバイス研究会」の取り組みを推進するとともに、平成18年度に花巻市に設置予定の岩手大学の「花巻サテライト」と連携し、花巻市起業化支援センターが中心となり、地元企業の技術力向上と新製品の事業化を促進することが必要である。

【成果品】

報告書

【調査体制】

委員会

【委員長・座長】

植田 浩史 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授

【事務局】(IVICT は除く)

丹野 幸樹 花巻市産業部商工労政課商工振興対策監

高木 伸 花巻市産業部商工労政課主任工業振興主査

【調査協力機関】

(株)価値総合研究所

【視察先・ヒアリング先など】

福岡県福岡市、北九州市

【委員等】(分科会等は除く)

阿部 一郎 (株)石神製作所代表取締役社長

鹿討 康弘 (株)共立精工専務取締役

鬼柳 一宏 (株)アイオー精密取締役経営企画室長

工藤 寿寛 (株)新興製作所製品企画室室長

吉田 寿穂 旭エンジニアリング(株)取締役技術部長

佐藤 芳克 (株)福伸製作所代表取締役社長

佐藤 智栄 (株)サトウ精機常務取締役

清水 健司 国立大学法人岩手大学地域連携推進センターセンター長

田村 均次 岩手県商工労働観光部産業振興課総括課長

小澤 和一 花巻市産業部参事兼商工労政課長

【区分】

電源地域振興指導事業